

カトリック山手教会月報

やまて



編集・発行 カトリック山手教会 広報委員会 〒231-8652 横浜市中区山手町44番地
☎ (045) 641-0735 <http://catholicyamate.org/>

第622号 2021年12月12日

教会学校の初聖体と幼児洗礼式

11月21日（日）王であるキリストの祭日13時半から、主任司祭・鈴木真神父様の司式で「子どもとともに、ささげるミサ」が執り行われました。このミサで初聖体2人、赤ちゃんを含む幼児洗礼4人が秘跡のお恵みを受けました。昨年に引き続き、感染状況から、なかなか教会に来ることがかなわず、10月からやっと対面での初聖体クラスを再開し、短期決戦とはなりましたが、鈴木真神父様、水上助祭さんのご指導のもと準備をしてきました。

当初、小学4年生1人でスタートでしたが、途中から高校1年生が加わり、2人で仲良く水上助祭さんから教えを受け、1週間ごとに祈りのテーマを決めて、保護者の方とともに神様に毎日お祈りをおささげしてきました。2人だけでしたが、神父様、助祭さんとマンツーマンに近い形で、ぜいたくな時間となりました。

当日のミサの参加は、教会学校の子どもの他に、初聖体のご家族、洗礼を受ける方のご家族、代父母、低学年の保護者、ガールスカウトと、制限のある中でしたが感染対策を十分にとり、約70人の参列となりました。初聖体の2人は白い衣装を着て、ベールにカチューシャをし、本当にかわいく、神様から愛されているのが伝わります。入祭の歌「かみさまといつもいっしょ」を、在校生たちがこの日のために練習をした手話でささげ盛り上げてくれました。

神父様のお説教は、初めてプロジェクターを使用し『うれないやきそばパン』の絵本を、いちばん後ろの席でもはっきり見ることができました。絵本の中で、人気がなく落ち込んでいたやきそばパンをおいしそうに食べてくれた女の人の笑顔が心に残り、子どもたちもご聖体をいただく時は心が笑顔になるといいなと願わずにはいられませんでした。

そして、初めてのご聖体拝領…きれいな心でイエスさまをお迎えした2人の、少しはにかんだ笑顔。ご家族のうれしそうなご様子。大きなお恵みのときとなりました。また、在校生たちは、侍者、先唱、朗読、共同祈願、拝領後の祈りとたくさんの奉仕をしてミサを支えてくれました。初聖体の2人も初めて朗読と共同祈願の奉仕をし、最後に祭壇前で皆さんに自己紹介をしました。閉祭も入堂と同様に神父様方と一緒に退堂し、閉祭の歌「ありがとうかみさま」を在校生たちは手話でささげ、聖堂内は神さまのお恵みでいっぱいになりました。

ご指導くださった鈴木神父様、水上助祭さん、この日のためにいっしょにお祈りくださり、喜びを分かち合ってくださいました山手教会共同体の皆さまに感謝を申し上げます。

記念写真を撮影していただいた土方さん、プロジェクターを担当してくださった宮さんに心より感謝いたします。